

令和元年度「県民Webアンケート」 第2回 奈良県の豊かな食と農の振興に関する調査

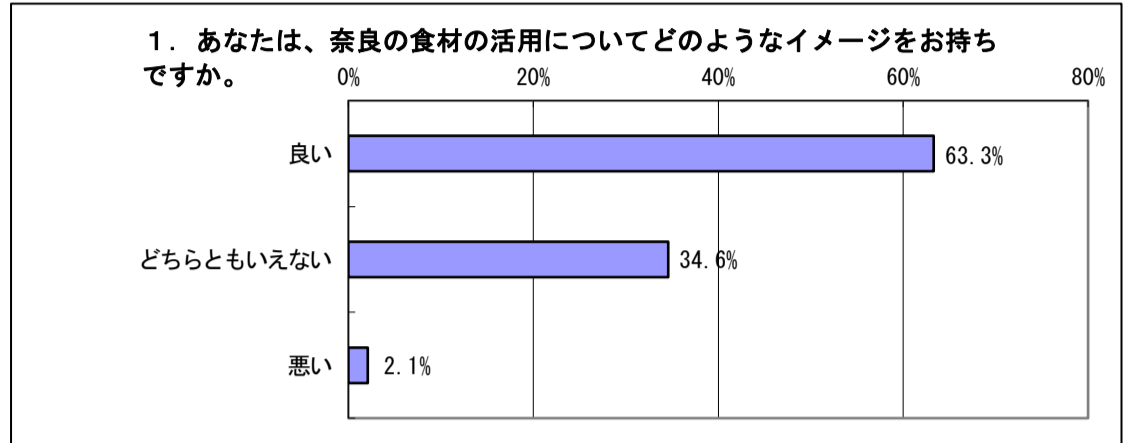
○実施期間 2019/7/25～2019/7/31

○アンケート会員数 237人 回収数 188件 (回収率 79.3%)

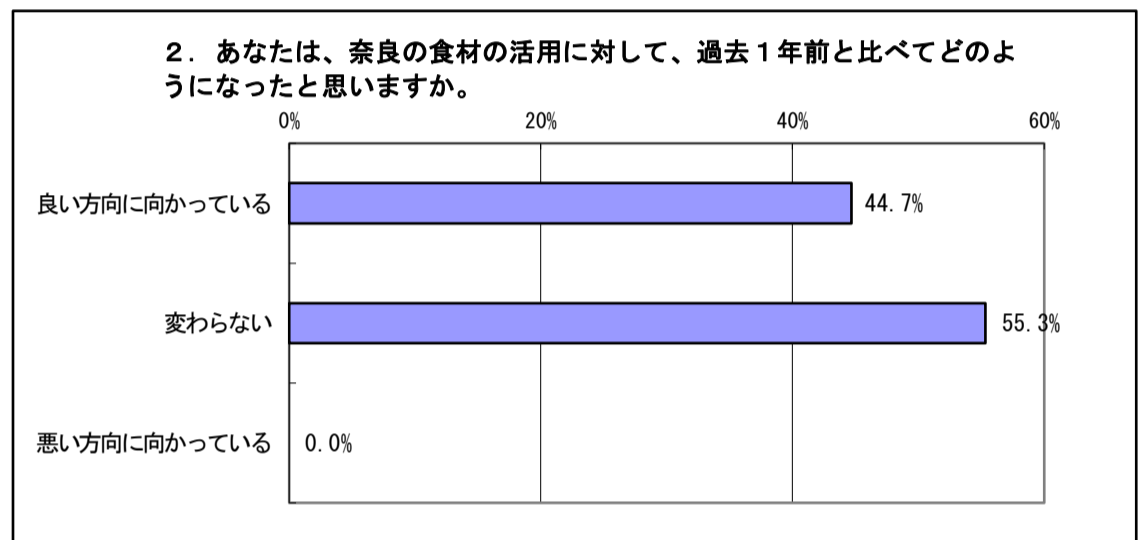
○「食」は生命の源であり、「農」はその「食」を支える重要な役割を果たしています。「食」の豊かさは健康の増進だけでなく、豊かな人間性を育みます。

そこで、県民の方々の健康や地域の活性化と密接に関わる「食」と「農」の一体的な振興をどのように進めていくか検討していきたいと考えています。つきましては、この取り組みに反映するため、「食」と「農」の現状を知る調査を実施しますので、どうぞご協力をお願いいたします。

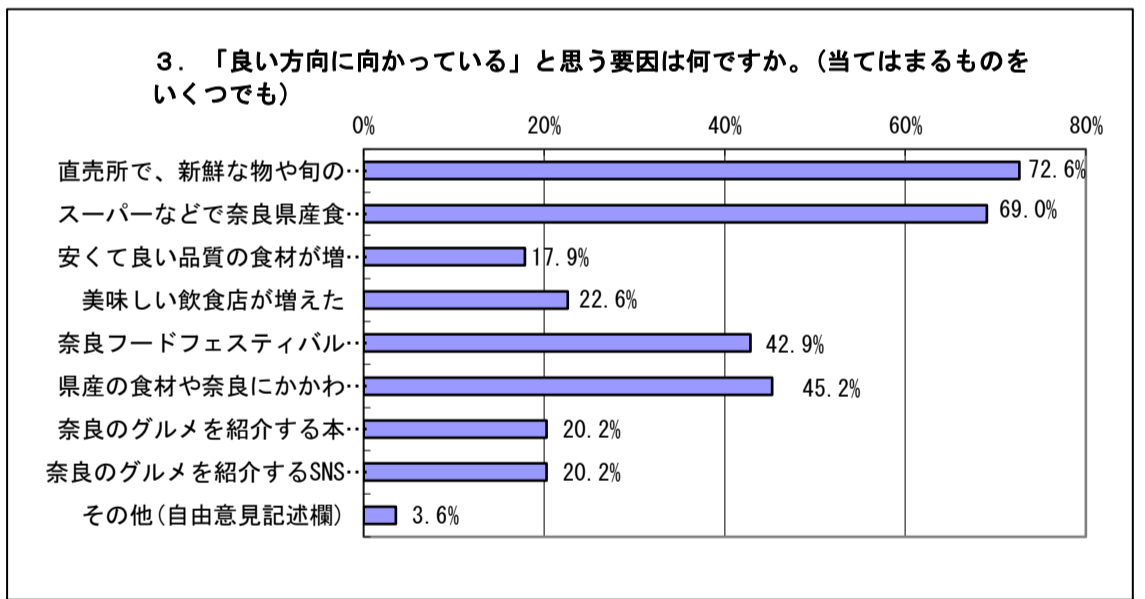
1. あなたは、奈良の食材の活用についてどのようなイメージをお持ちですか。	回答数	回答対象者	比率
良い	119	188	63.3%
どちらともいえない	65		34.6%
悪い	4		2.1%
総計	188		100.0%



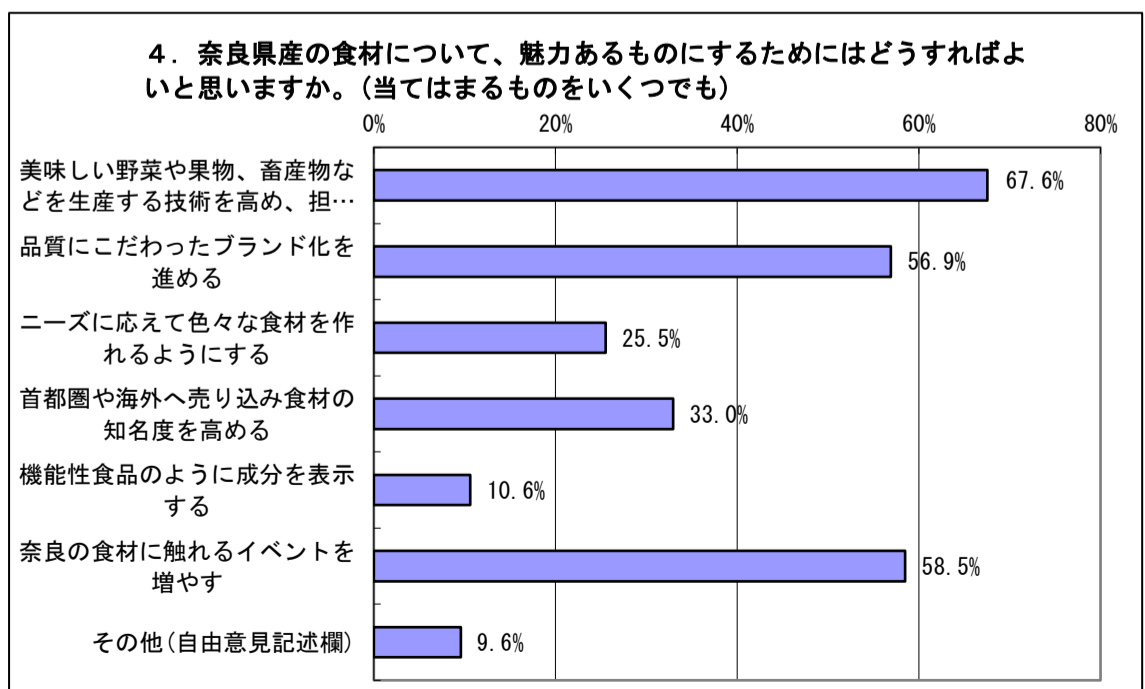
2. あなたは、奈良の食材の活用に対して、過去1年前と比べてどのようなようになったと思いますか。 →この設問(Q2)で「良い方向に向かっている」を選択された方はQ3へ、「変わらない」、「悪い方向に向かっている」を選択された方はQ4へ	回答数	回答対象者	比率
良い方向に向かっている	84	188	44.7%
変わらない	104		55.3%
悪い方向に向かっている	0		0.0%
総計	188		100.0%



3. Q2で「良い方向に向かっている」を選択された方にお聞きします。「良い方向に向かっている」と思う要因は何ですか。(当てはまるものをいくつか選んでも)	回答数	回答対象者	比率
直売所で、新鮮な物や旬の物、地域限定の物の購入機会が増えた	61	84	72.6%
スーパーなどで奈良県産食材をよく見かけるようになった	58		69.0%
安くて良い品質の食材が増えた	15		17.9%
美味しい飲食店が増えた	19		22.6%
奈良フードフェスティバルなど奈良の食を楽しむ機会が増えた	36		42.9%
県産の食材や奈良にかかわりのある飲食店が雑誌やテレビに取り上げられ知名度がアップした	38		45.2%
奈良のグルメを紹介する本が増えた	17		20.2%
奈良のグルメを紹介するSNSが増えた	17		20.2%
その他(自由意見記述欄)	3		3.6%
総計	264		



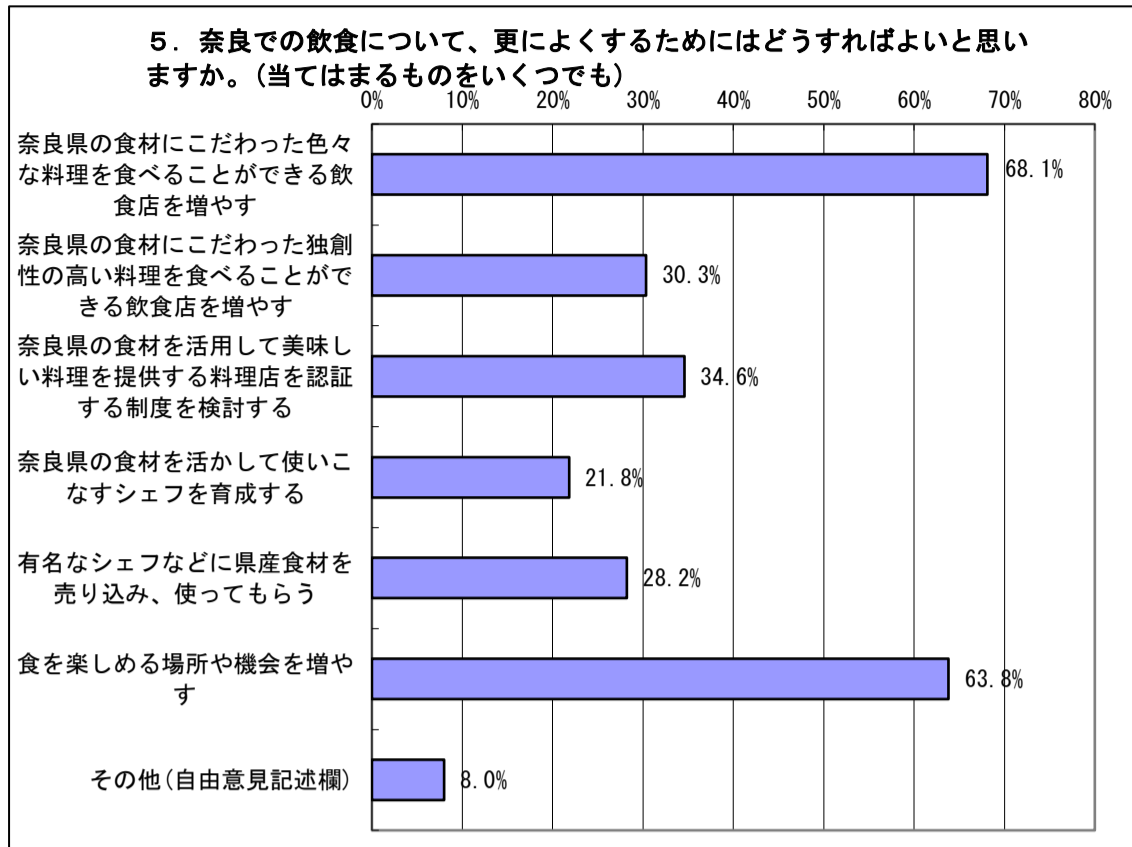
4. 奈良県産の食材について、魅力あるものにするためにはどうすればよいと思いますか。(当てはまるものをいくつか選んでも)	回答数	回答対象者	比率
美味しい野菜や果物、畜産物などを生産する技術を高め、担い手を育成する	127	188	67.6%
品質にこだわったブランド化を進める	107		56.9%
ニーズに応じて色々な食材を作れるようにする	48		25.5%
首都圏や海外へ売り込み食材の知名度を高める	62		33.0%
機能性食品のように成分を表示する	20		10.6%
奈良の食材に触れるイベントを増やす	110		58.5%
その他(自由意見記述欄)	18		9.6%
総計	492		



その他(自由記載) 一部抜粋
地産地消を進め、新鮮な食材を手に入れやすくする。

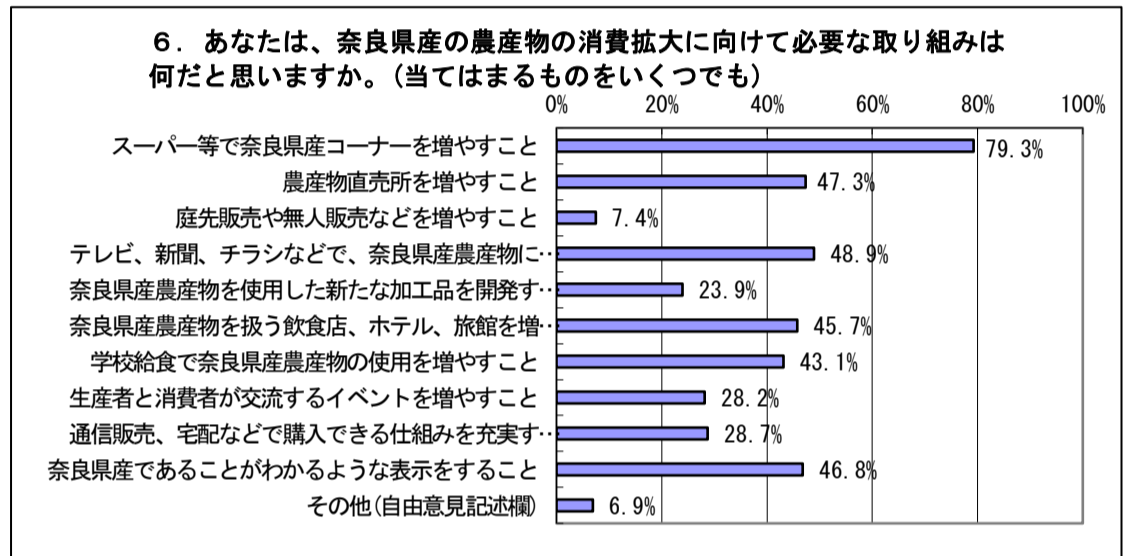
5. 奈良での飲食について、更によくするためにはどうすればよいと思いますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
奈良県の食材にこだわった色々な料理を食べることができる飲食店を増やす	128	188	68.1%
奈良県の食材にこだわった独創性の高い料理を食べることができる飲食店を増やす	57		30.3%
奈良県の食材を活用して美味しい料理を提供する料理店を認証する制度を検討する	65		34.6%
奈良県の食材を活かして使いこなすシェフを育成する	41		21.8%
有名なシェフなどに県産食材を売り込み、使ってもらう	53		28.2%
食を楽しめる場所や機会を増やす	120		63.8%
その他(自由意見記述欄)	15		8.0%
総計	479		-

その他(自由記載) 一部抜粋
一般の人に、奈良の食材の調理法を紹介する場が必要だと思います。



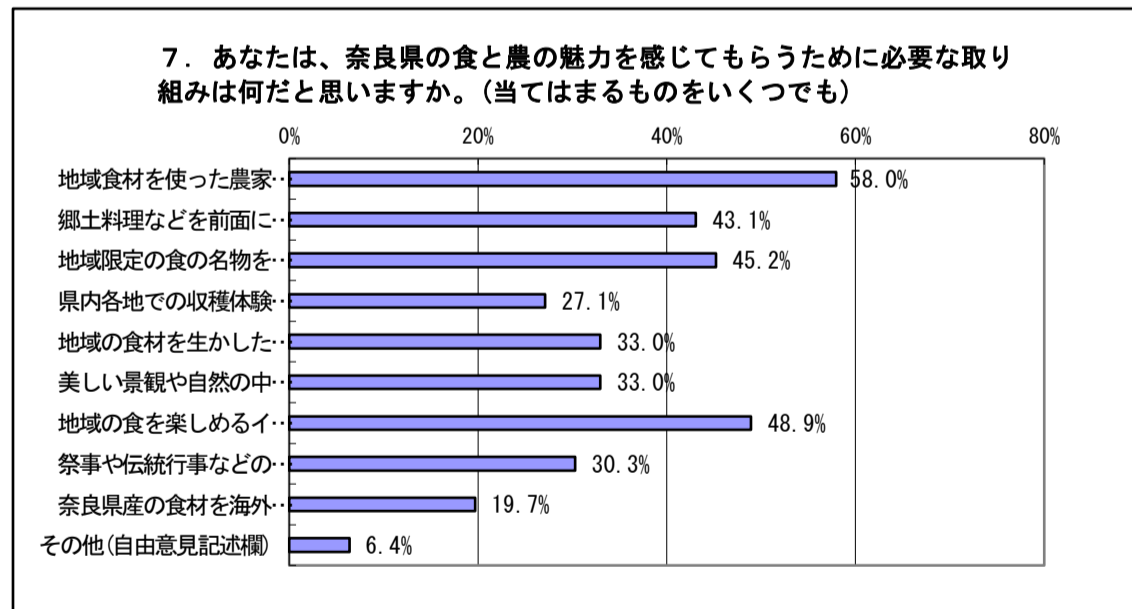
6. あなたは、奈良県産の農産物の消費拡大に向けて必要な取り組みは何だと思えますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
スーパー等で奈良県産コーナーを増やすこと	149	188	79.3%
農産物直売所を増やすこと	89		47.3%
庭先販売や無人販売などを増やすこと	14		7.4%
テレビ、新聞、チラシなどで、奈良県産農産物について情報提供すること	92		48.9%
奈良県産農産物を使用した新たな加工品を開発すること	45		23.9%
奈良県産農産物を扱う飲食店、ホテル、旅館を増やすこと	86		45.7%
学校給食で奈良県産農産物の使用を増やすこと	81		43.1%
生産者と消費者が交流するイベントを増やすこと	53		28.2%
通信販売、宅配などで購入できる仕組みを充実すること	54		28.7%
奈良県産であることがわかるような表示をすること	88		46.8%
その他(自由意見記述欄)	13		6.9%
総計	764		-

その他(自由記載) 一部抜粋
スーパーで奈良の地産地消コーナーを作ってもらえば、野菜コーナーに入る入り口すぐが良いと思います。もしくはコーナーを作らず、他府県の野菜の横に奈良産のものを明記して販売し、お客さんにどちらかを選んでもらうようにする。

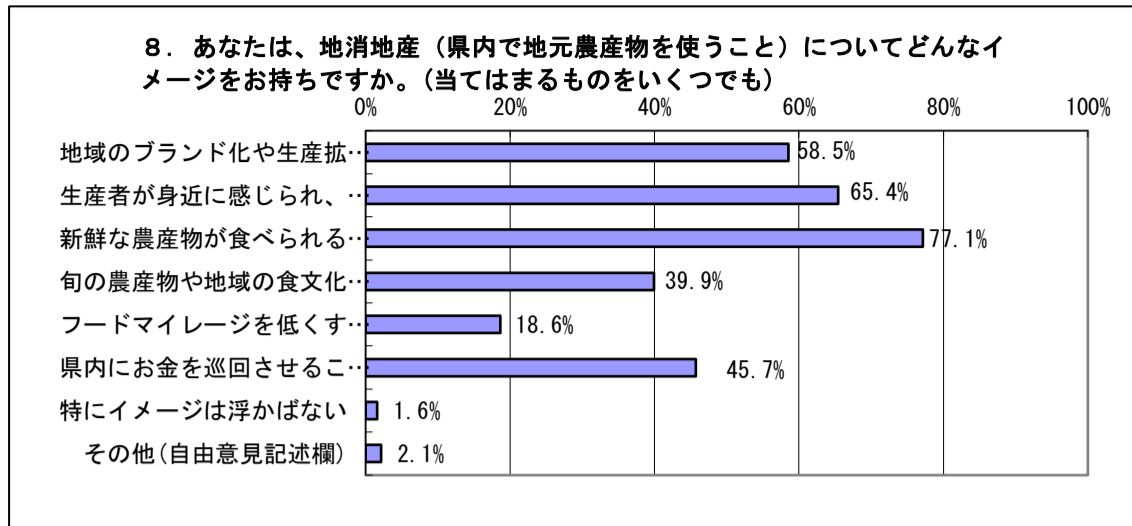


7. あなたは、奈良県の食と農の魅力を感ずるために必要な取り組みは何だと思えますか。(当てはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
地域食材を使った農家レストランや産直レストランを増やす	109	188	58.0%
郷土料理などを前面に出した地域限定メニューを提供する	81		43.1%
地域限定の食の名物を作る	85		45.2%
県内各地での収穫体験や加工体験などの体験メニューを充実させる	51		27.1%
地域の食材を生かした美味しい料理を食べられる宿(オーベルジュ)を増やす	62		33.0%
美しい景観や自然の中で食事の提供の機会を増やす	62		33.0%
地域の食を楽しめるイベント(シェフェスタ、食ツアー、ウォーク)を実施する	92		48.9%
祭りや伝統行事などの農村文化を味わえる場を提供する	57		30.3%
奈良県産の食材を海外に輸出する販路開拓をする	37		19.7%
その他(自由意見記述欄)	12		6.4%
総計	648		-

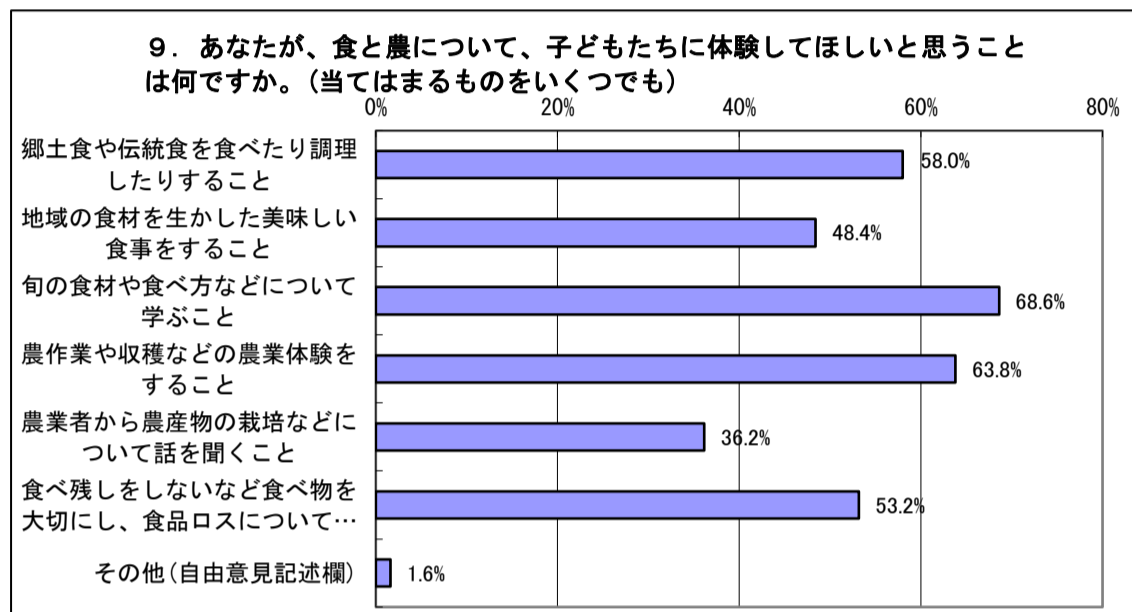
その他(自由記載) 一部抜粋
どこで何のイベントをやっているのか、もっと周知されるよう宣伝に力を入れたいと思います。
シェフェスタ等、イベントを実施するのは良いと思うが、事前の宣伝があまりなく知名度が低いと思う。



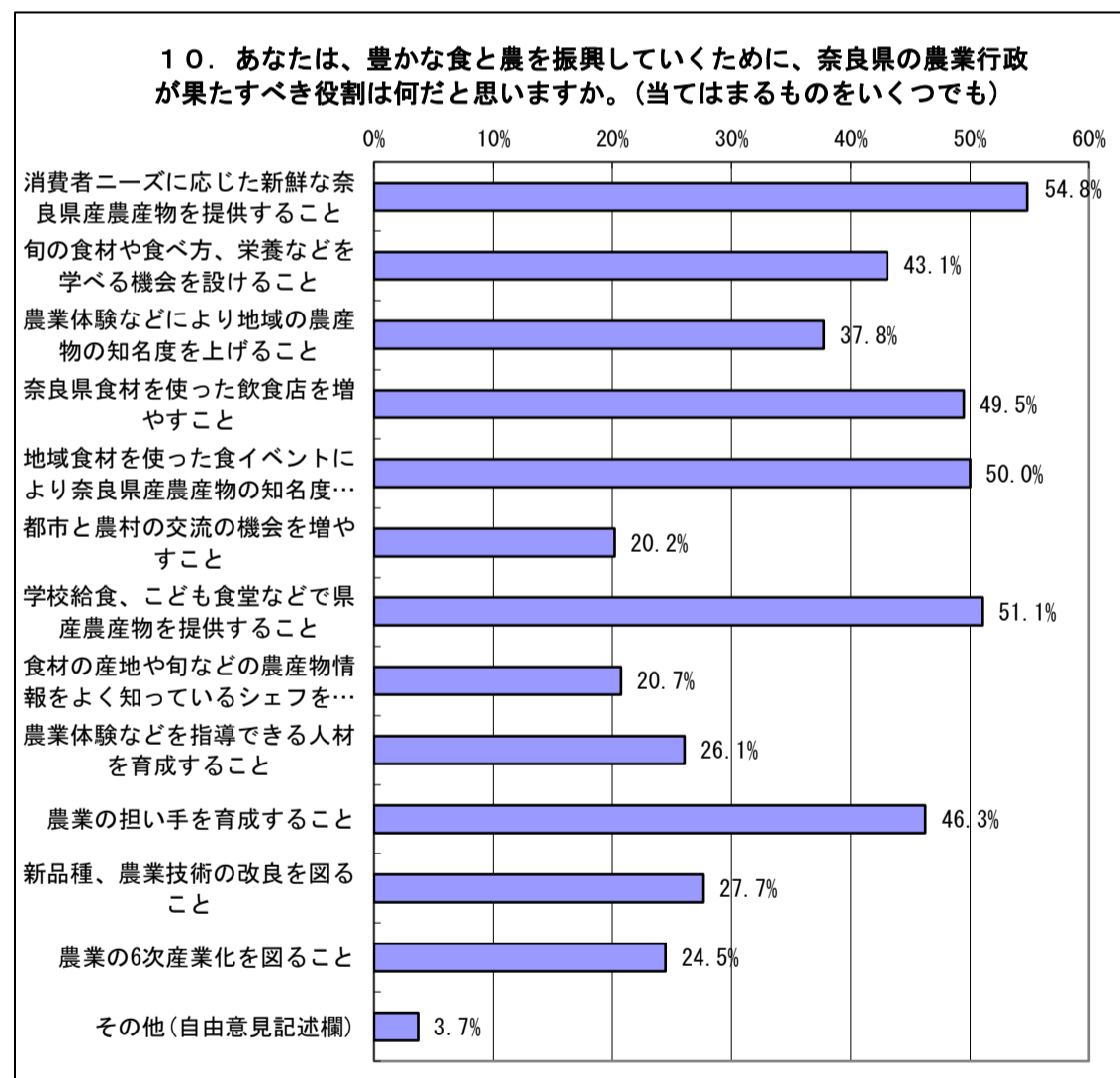
8. あなたは、地消地産（県内で地元農産物を使うこと）についてどんなイメージをお持ちですか。（当てはまるものをいくつでも）	回答数	回答対象者	比率
地域のブランド化や生産拡大など地域の活性化につながると思う	110	188	58.5%
生産者が身近に感じられ、安全・安心な食材を入手できると思う	123		65.4%
新鮮な農産物が食べられると思う	145		77.1%
旬の農産物や地域の食文化に対する理解が深まると思う	75		39.9%
フードマイレージを低くすることができる	35		18.6%
県内にお金を巡回させることができる	86		45.7%
特にイメージは浮かばない	3		1.6%
その他(自由意見記述欄)	4		2.1%
総計	581		-



9. あなたが、食と農について、子どもたちに体験してほしいと思うことは何ですか。（当てはまるものをいくつでも）	回答数	回答対象者	比率
郷土食や伝統食を食べたり調理したりすること	109	188	58.0%
地域の食材を生かした美味しい食事をする	91		48.4%
旬の食材や食べ方などについて学ぶこと	129		68.6%
農作業や収穫などの農業体験をすること	120		63.8%
農業者から農産物の栽培などについて話を聞くこと	68		36.2%
食べ残しをしないなど食べ物を大切に、食品ロスについて学ぶこと	100		53.2%
その他(自由意見記述欄)	3		1.6%
総計	620		-



10. あなたは、豊かな食と農を振興していくために、奈良県の農業行政が果たすべき役割は何だと思えますか。（当てはまるものをいくつでも）	回答数	回答対象者	比率
消費者ニーズに応じた新鮮な奈良県産農産物を提供すること	103	188	54.8%
旬の食材や食べ方、栄養などを学べる機会を設けること	81		43.1%
農業体験などにより地域の農産物の知名度を上げること	71		37.8%
奈良県食材を使った飲食店を増やすこと	93		49.5%
地域食材を使った食イベントにより奈良県産農産物の知名度を上げること	94		50.0%
都市と農村の交流の機会を増やすこと	38		20.2%
学校給食、こども食堂などで県産農産物を提供すること	96		51.1%
食材の産地や旬などの農産物情報をよく知っているシェフを育成すること	39		20.7%
農業体験などを指導できる人材を育成すること	49		26.1%
農業の担い手を育成すること	87		46.3%
新品種、農業技術の改良を図ること	52		27.7%
農業の6次産業化を図ること	46		24.5%
その他(自由意見記述欄)	7		3.7%
総計	856		



11. このアンケートについて、ご意見ご要望がございましたら、ご自由に記入してください。	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	51	-	-